

[472925]

【AutoCAD Plant 3Dと3Dレーザスキャナを活用した配管設計】

[砂村 和彦]

[株式会社ジェイコフ]

学習の目的

- 3D CAD のメリット
- 3D レーザスキャナの活用
- 3D モデルと点群データを組み合わせた活用
- Navisworks・VR を使ったプレゼンテーション

説明

2D では設計過程での認識の誤差が発生し易く、それに伴う手戻りが設計、施工共に起こってしまうという課題がありますが、3D 及び 3D レーザスキャナを用いる事で、設計過程における認識の誤差及び設計ミスの減少することが出来ます。。特に、古いプラントにおいては、図面が残っていない事も多く、従来の人による現場調査では多くの時間が必要となり非効率であり、3D レーザスキャナを活用する事により、より早く正確に現状を把握し 3D モデルとの融合により的確な設計及びシミュレーションを行うことが出来ます。また、本セッションでは、実際に AutoCAD Plant 3D で 3D モデルを作成し、ReCAP と 3D レーザスキャナで用いて点群データから測定する方法をご紹介します、また、VRED (3D ビジュアライゼーションソフトウェア)等を活用し、更に認識の共有化を進め、設計の効率化を図る方法についても解説します。

スピーカーについて

株式会社ジェイコフ 代表取締役 砂村 和彦

1973 年生まれ

証券会社、運輸会社で管理及び営業を経験し 2013 年 4 月に株式会社ジェイコフ入社。

2016 年 6 月に代表取締役就任。

2014 年に AutoCAD Plant 3D を導入。2017 年に 3D レーザスキャナを導入し、設計業務の効率化、現場調査の効率化及び提案力強化に取り組む。

2019 年より、VR を活用した設計提案も開始。